

## 4. 提案のプロジェクト

#### 4. 提案のプロジェクト

北および西スマトラ省の観光開発に必要なプロジェクトを下記に示す。示す目的は、現在の計画の物的計画の結果として、最も望ましいとみなされる調査地域における観光の姿を示すことにある。これらプロジェクトは、需要の成長に従って、ある期間にわたって開発されるものであり全部を直ちに実施しようというものではない。しかし、これらのプロジェクトは、第3章で考察した政策と戦略に基づいているので、もし第3章の様々な提案または勧告が却下された場合、それらは変更またはキャンセルするかまたは少なくとも実施スケジュールを変更しなければならないものである。換言すれば、各々がそれ自体で不可欠であるよりもむしろ、これらのプロジェクトは、スタディ地域の将来の観光開発の全体像を示すために考察された一連の仮定とみなすべきである。

北スマトラ観光開発事業の一覧

\*開発主体 TD:政府による観光開発事業

SD:政府による社会開発事業

P:民間事業

\*( )内は運営・維持管理費用を示す。

	開発スケジュール				開発主体と費用		
	'80	'85	'90	'95	TD	SD	P(百万ドル)
1. 自然保護事業							
1-1 トバ湖水質モニタリングシステム	■				-	0.17 (0.09)	-
1-2 貴重動植物調査	■				-	0.03	-
1-3 植林事業	■	■	■	■	-	3.74 (1.12)	-
2. 地域景観整備事業							
2-1 展望地点の開発	■				1.33 (0.23)	-	-
2-2 沿道景観の保全・開発		■			1.60 (0.32)	-	-
2-3 景観保全地域の整備	■	■	■	■	0.24 (0.05)	-	-
3. 文化遺産保護事業							
3-1 カロ民族伝統家屋の保護	■	■	■	■	0.11	-	-
3-2 ラヤ博物館(プラスチック)の拡張	■				0.14	-	-
3-3 カロ民族研究センター	■				0.01	-	-
3-4 リモンール島の伝統集落及び遺跡保存・改良事業	■				0.26 (0.01)	-	-
3-5 文化遺産発掘事業		■			0.07	-	-
3-6 バタック博物館の建設		■			0.23	-	-
3-7 民族芸能及び行事に対する振興助成	■	■	■	■	-	0.14	-
3-8 無形文化財の奨励金制度	■	■	■	■	-	0.20	-

	開発スケジュール				開発主体と費用		
	'80	'85	'90	'95	TD	SD	P(百万ドル)
3-9 文化保存振興団体の創設					-	0.05 (0.78)	-
4. 基盤整備及び交通ネットワーク 開発							
4-1 ノダンボロニア空港改良事業					-	27.78	-
4-2 ブラストギ〜カワール湖間道 路の新設事業					-	6.29 (0.76)	-
4-3 トバ湖 湖畔道路の改良事業					-	4.05 (0.89)	-
4-4 観光スポットへのアクセス道 路改良事業							
4-5 ブラストギ 市街地給水事業					0.05	0.12	-
4-6 パラバット "					0.30	0.51	-
4-7 ブラストギ 市街地ゴミ処理 施設整備事業					0.28	0.80	-
4-8 パラバット "					0.45	0.77	-
4-9 パラバット 市街地下水処理 事業					2.69	4.57	-
4-10 トバ湖々上交通網整備事業					-	-	3.89
5. 施設整備事業 (ブラスタギ・パラバットを除く)							
5-1 宿泊施設					-	-	12.52
5-2 観光施設(公共施設)					0.06 (0.01)	-	-
5-3 観光施設(民営施設)					-	-	3.84
5-4 従業員住宅団地開発事業					-	14.56	-
6-1 ブラストギ観光拠点開発事業							
6-1-1 観光施設民間開発事業					-	-	29.5

	開発スケジュール				開発主体と費用		
	'80	'85	'90	'95	TD	SD	P(百万ドル)
6-1-2 観光公共施設整備事業					0.71	--	--
6-1-3 従業員住宅用地開発事業					--	--	4.67
6-1-4 開発コーポレート組織の 設立・運営					0.05 (0.78)	--	--
6-2 パラパット観光拠点開発事業							
6-2-1 観光施設民間開発事業					--	--	28.81
6-2-2 観光公共施設整備事業					6.67 (1.11)	--	--
6-2-3 従業員住宅用地開発事業					--	7.45 (0.45)	--
6-2-4 開発コーポレート組織の 設立・運営					0.05 (0.78)	--	--
7. 市民レクリエーション活動振興事業							
7-1 市民レクリエーション活動への 助成					--	(0.60)	--
7-2 カロ。市民総合スポーツグラウ ンドの建設					--	0.85 (0.34)	--
8. 観光産業の振興及び地元社会の 環境整備事業							
8-1 政府によるマーケットプロモ ーション					3.14	--	--
8-2 観光産業振興のための減税措置					--	--	--
8-3 観光関連産業就業者の教育セン ター					1.40	--	--
8-4 物資流通施設の改良 (カバンジャへ)					--	0.86	--
8-5 人口流出集落の集村化及び環境 整備事業					--	6.00	--

合計 184.39 ( 8.75 )

西スマトラ観光開発事業の一覧

	開発スケジュール				開発主体と費用		
	'80	'85	'90	'95	TD	SD	P(百万ドル)
1. 自然保護事業							
1-1 マニンジョー・シンカラック湖 水質モニタリングシステム	■					0.17 (0.21)	-
1-2 貴重動植物調査	■					0.12	-
1-3 植林事業	■	■	■	■		0.77 (0.12)	-
2. 地域景観整備事業							
2-1 展望地点の開発	■				0.90 (0.15)	-	-
2-2 沿道景観保全・開発		■	■		0.55 (0.09)	-	-
2-3 景観保全地域の整備	■	■	■	■	0.24 (0.04)	-	-
3. 文化遺産保護事業							
3-1 手工芸センター建設	■				-	-	1.17
3-2 伝統工芸品生産集落		■	■		0.05	-	-
3-3 伝統芸能のためのオーディトリウム			■	■	0.40	-	-
3-4 伝統芸能広場			■	■	0.01	-	-
3-5 ミナンカバウ伝統家屋の保護	■				0.01	-	-
3-6 伝統芸能振興のための助成措置	■	■	■	■	-	0.22	-
3-7 無形文化財への奨励金制度	■	■	■	■	-	0.90	-
3-8 文化遺産発掘事業		■	■		0.07	-	-
3-9 文化保存振興団体の創設	■	■	■	■	-	0.05 (0.78)	-

開発スケジュール

開発主体と費用

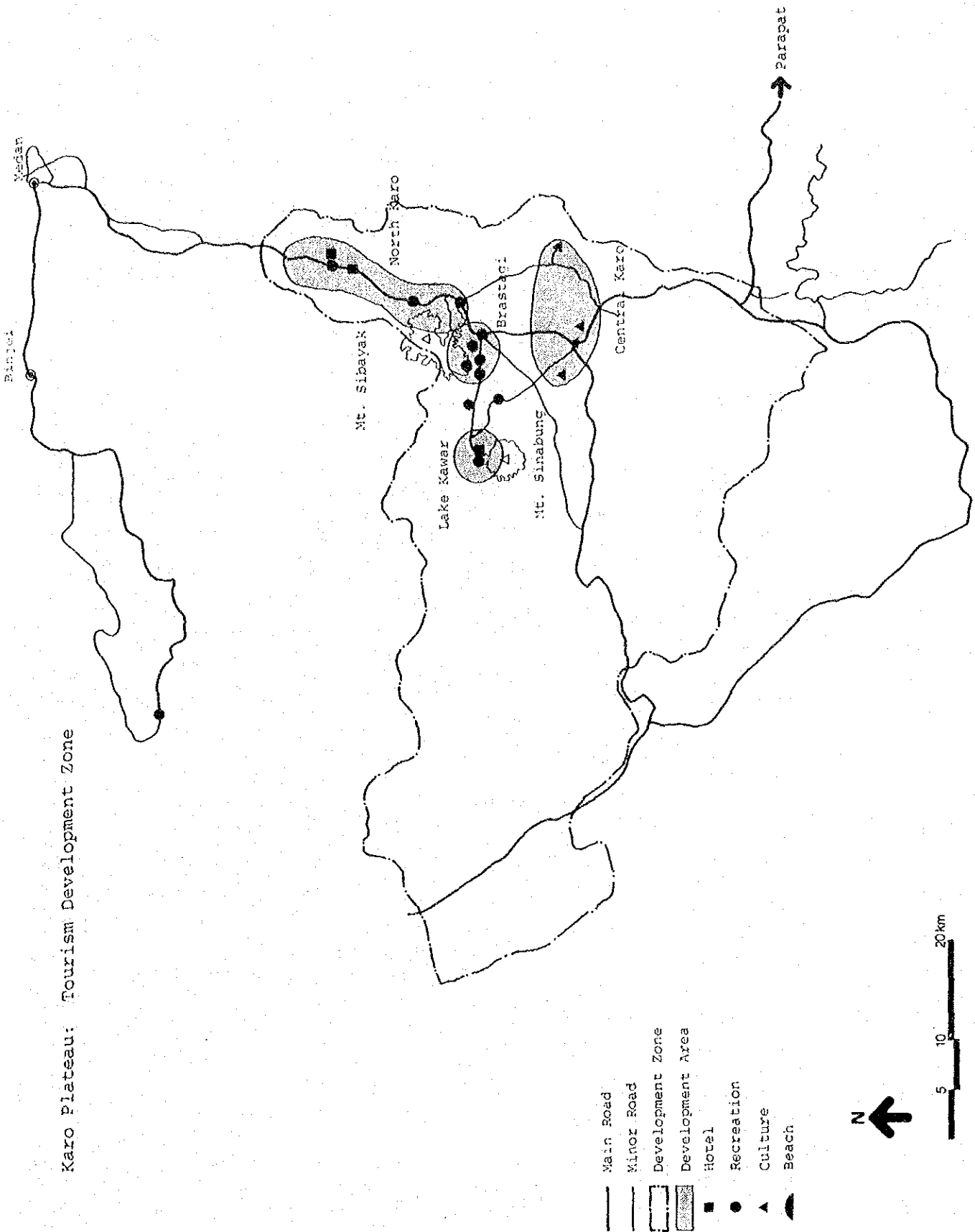
	'80	'85	'90	'95	TD	SD	P(百万ドル)
4. 基礎整備及び交通ネットワーク開発							
4-1 タビン空港改良事業	[Bar from '80 to '90]				-	9.15	-
4-2 ガドゥップ空港改良事業			[Bar from '90 to '95]		-	1.70	-
4-3 観光スポットへのアクセス	[Bar from '80 to '95]				1.23 (0.26)	-	-
4-4 ブッキティンギ市街地給水事業	[Bar from '80 to '95]				0.14	1.93	-
4-5 " 市街地ゴミ処理施設整備	[Bar from '80 to '95]				0.36	4.81	-
4-6 マニンジャウ湖湖上交通整備事業		[Bar from '85 to '90]			-	-	1.04
5. 施設整備事業 (ブッキティンギを除く)							
5-1 宿泊施設	[Bar from '80 to '95]				-	-	2.99
5-2 観光公共施設		[Bar from '85 to '95]			0.05 (0.02)	-	-
5-3 観光施設民間開発事業	[Bar from '80 to '95]				-	-	1.53
5-4 従業員住宅団地開発事業	[Bar from '80 to '90]				-	1.62 (0.96)	-
6. ブッキティンギ観光拠点開発事業							
6-1 観光施設民間開発事業	[Bar from '80 to '95]				-	-	15.85
6-2 観光公共施設		[Bar from '85 to '95]			1.57 (0.32)	-	-
6-3 従業員住宅団地開発事業	[Bar from '80 to '90]				-	3.64 (1.02)	-
6-4 開発コーズネット組織の設立・運営	[Bar from '80 to '95]				0.05 (0.70)	-	-
7. 市民レクリエーション活動振興事業							
7-1 ソロックピクニック公園			[Bar from '90 to '95]		-	0.40	-

	開発スケジュール				開発主体と費用		
	'80	'85	'90	'95	TD	SD	P(百万ドル)
8. 観光産業振興事業							
8-1 政府によるマーケットプロモーション					1.15	--	--
8-2 観光産業振興のための減税措置					--	--	--
8-3 観光関連産業就業者の教育センター					0.83 (2.34)	--	--

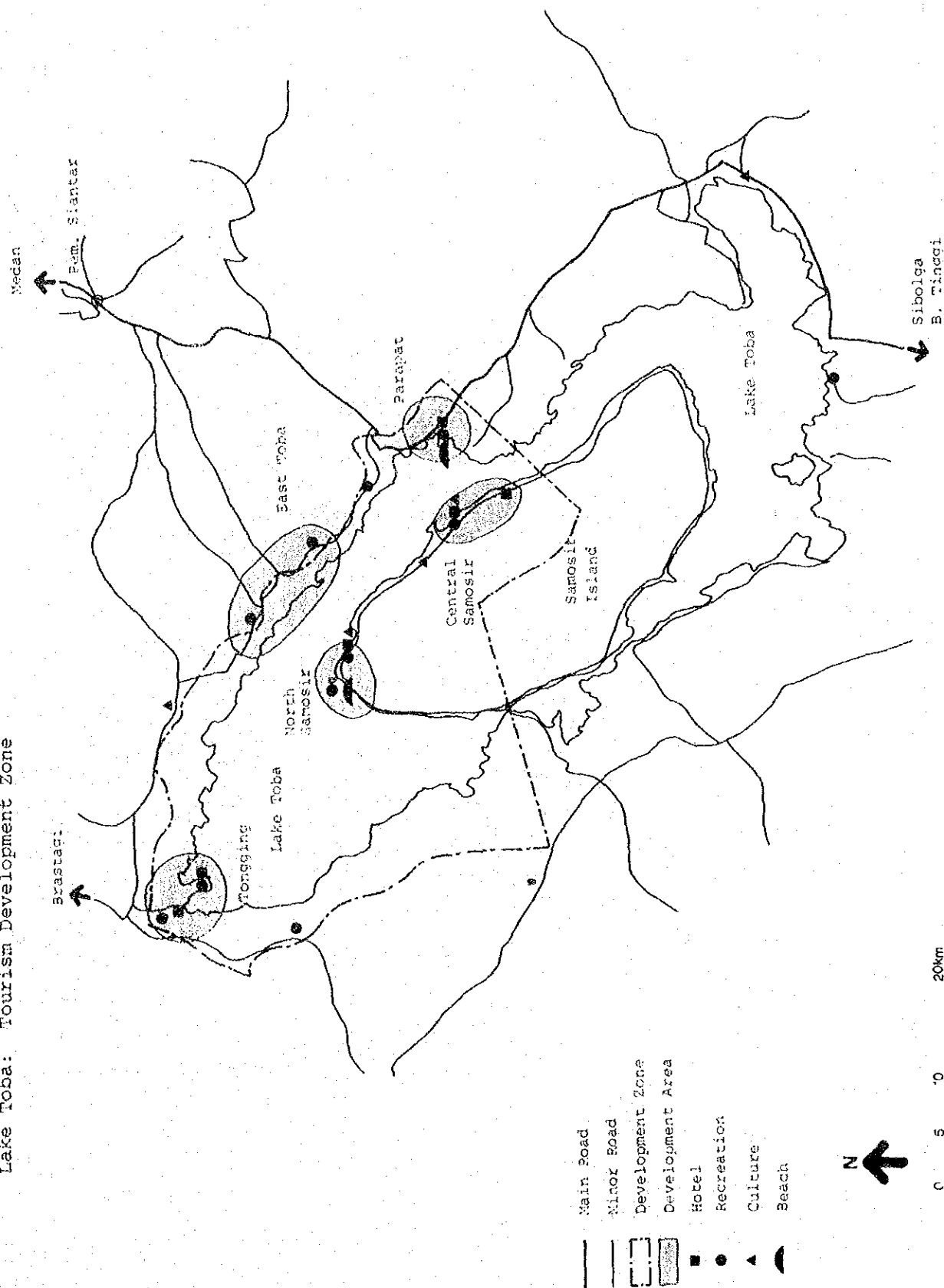
合計 55.67 (7.01)



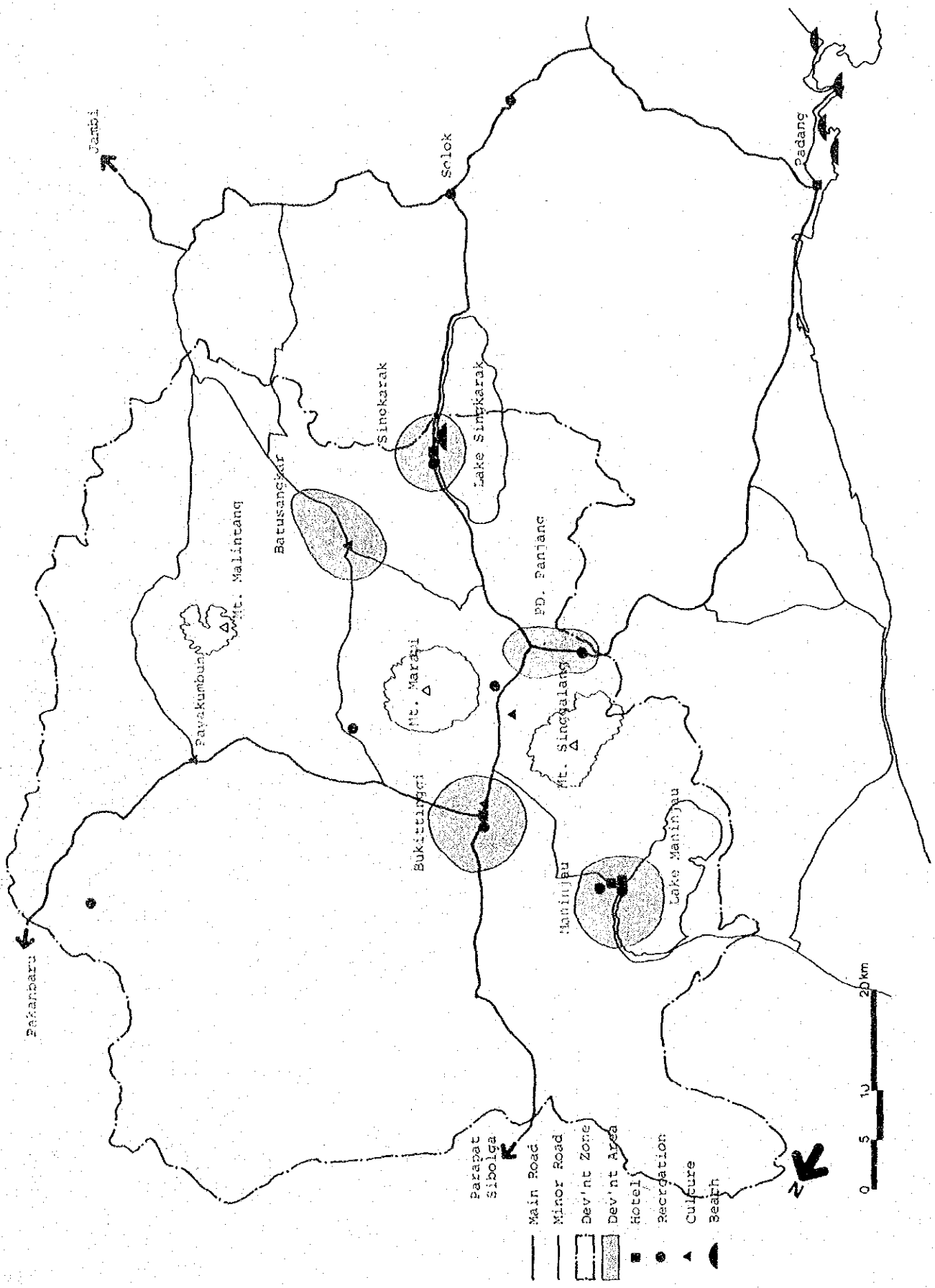
Karo Plateau: Tourism Development Zone



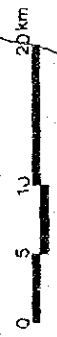
Lake Toba: Tourism Development Zone



Minang Highlands: Tourism Development Zone



- Parapat
- Sibolga
- Main Road
- Minor Road
- Dev't Zone
- Dev't Area
- Hotel
- Recreation
- Culture
- Beach



## 5. 緊急を要する事業の計画

## 5. 緊急を要する事業の計画

### 5.1 緊急を要する事業

#### (1) 総合開発計画への編入

提案や提案のプロジェクトの多くは5ヶ年計画、および総合地域開発計画などの上位長期計画に適時編入されこれら上位長期計画を通じて実施されるべきものである。

#### (2) 促進キャンペーン

今から最初の一連の開発事業が完了するまでに、しばらくの間時間がかかる。しかし、このような休止期間においてさえ、観光客数の成長率を上げることが必要であり、この要求条件を満たすための必要な対策活動は、今から開始されなければならない。

一般に、既存の宿泊設備、施設およびインフラは、わずかの例外を除き、現在の需要の大きさに対してある程度余裕を持っている。従って開発活動の結果が出るまでに、それらの利用率や稼働率を向上させることが不可欠である。

(3) 上記の要因の観点から、宣伝キャンペーンを直ちに始めるよう提案される。宣伝はDGTが直接に、また旅行社や航空会社が行う。必要な情報は、DGTが旅行社や航空会社に支給する。情報は様々なメディアを介して宣伝される。情報は、旅行者が期間と費用を見積ることのできる実用的データを含む。西スマトラは北スマトラに較べて知られていないから十分な比重を考慮する必要がある。海外での宣伝は、観光客の発生率のより多い国、たとえばASEAN諸国（特に、マレーシア、シンガポール）、EC諸国（特に、ドイツ、フランス）、オセアニア、アメリカおよび日本などに集中して行う。

#### (4) 既存の観光条件のレベルアップ

前記の諸事項と同時に、大きな手続なしに改善しうる既存の観光条件を、遅延することなく、レベルアップする必要がある。出入口都市から中核地区への交通は、より快適な車輛でフリークエントサービスするように改善する必要がある。ホテルのサービスとメニューの多様性を、国際水準になるようレベルアップする必要がある。観光地の衛生

条件を改善する必要がある。これらの改善を確実に行うため、管理規定を作ることを考慮するよう勧められる。周遊制度を導入し航空運賃を下げるよう準備を行なうことが勧められる。

#### (5) 統計システムの改善

一方、既存の観光統計と方法を改善する必要がある。正確なデータを収集するため適切な方法とシステムを採用することが示唆される。これらの準備と作業は、直ちに開始する必要がある。収集すべきデータは、外国および国内の直接および間接訪問客数、省内の観光客と日帰り旅客数、ホテルでの宿泊数、旅行目的、一般および観光交通などをカバーする必要がある。また、データが十分に集まった時点で必ずこれに基づいて観光開発計画を見直すことが提案される。

### 5.2 必要な制度

#### (1) 実施機関の設立

前に記したように、必要な機関は、プロジェクトの実施と運営のための機関、トレーニングのための機関、および文化保護のための機関を含む。DGTは、これらの早期設立のために必要な準備作業を開始する必要がある、また文化保護と振興に関する機関を担当する他の当局との交渉および調整を過て設立する必要がある。開発開始年以前に実施機関の設立を完了するのに必要な手続を行わなければならない。

#### (2) 実施機関による準備作業

観光施設の開発のために、更に実施のための調査を行う必要があるが、開発サイトの選択は早い時期に行なう必要がある。開発の予定地を保存し土地投機を防ぐ必要がある。また、実施機関またはDGTは、投資希望者の意思と要求を採知し、その結果に基づいて開発実現のため、適切な促進を行わなければならない。

#### (3) トレーニングシステム設立の準備

観光産業全般にわたるトレーニング機関の設立のため、必要な手続を早急に開始する

必要がある。熟練者を増加するため、DIPARDA（地方観光局）が早急に臨時トレーニングコースを作って実施する必要がある。DGTは、良質な訓練員を集め、また最初の事業投資を補助する際、DIPARDAを援助する必要がある。

#### (4) 投資に対するインセンティブの改善

民間投資者にとって好ましい環境を作成することは、緊急の必要条件である。前記のように、投資に対するインセンティブの制度の改善に必要な手続を早急に行う必要がある。

### 5.3 優先プロジェクトの調査

提案の事業の中には、さまざまな局面から不可欠で、大規模で、時間のかかるものがある。それらは優先順位が高い。それらの実現のため、早急に手続を開始する必要がある。

#### (1) 国立レクリエーション公園についての調査

トバ湖観光開発地区を、「国立レクリエーション公園」と指定し、カロおよびミナン観光開発地区を「準国立レクリエーション公園」に指定することが提案されている。

これらの地域の自然環境を保護し、すでに劣化した所では良好な状態に修復することは極めて重要なので各種の開発を進める前に、生態学的調査または研究を早急に行う必要がある。従って、地区を調査して線引きし、国立レクリエーション公園として指定できるよう政府が必要な行政手続を早急に開始することが勧告される。

#### (2) 観光都市のスタディと計画

基本計画によりプラスタギ、バラバットおよびプキティンギの3つの集中開発地区が提案されている。各地区の実施段階に入る前に、適切に計画を行なう必要がある。よってこれら3地区の詳細な調査を開始することが勧告される。このような調査について、十分な大きさの縮尺をもつ詳細な地図が必要である。よって、前記の調査を始める前に地図を作成しておく必要がある。この地図作成は、スタディに先行して独立して行ってもよいし、あるいはスタディの項目に含めることも可能である。

### (3) 空港改修の調査

本基本計画において、メダン・ポロニア空港およびパダン・タピン空港は、次期5ヶ年計画期間の終り近くに既存の施設容量が不足するであろうから、近い将来施設の拡張を行なう必要があると提案されている。また、これらの空港双方、またはいずれかが、定期便またはチャーター便に使用されうる、より大型の飛行機の離着陸が可能な施設が要求されることが示唆されている。それゆえに、このような拡張の時期と規模を決定する調査および研究を直ちに開始することが勧告される。











